

策定委員会における意見要旨

■多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出 関連

- 自分たちが生き生きと人生を楽しむためには、やはりスポーツそのものも楽しいし、それを通じて健康になるというポジティブな考え方を、色々な角度から発信していく方法について考えていけると良い。
- 第2期基本計画には“ビジネスパーソン”という言葉が入っており、さらに第3期には“子育て世代”も追加されたが、企業が多い愛知県であるからこそ、企業と連携した取組に力を入れていけると良い。
- 障害のある人たちにどう働きかけていくのか、スポーツと関わるようにするにはどうしていくべきなのかということを考えていくという視点が必要なのではないかと思う。
- スポーツをやりたい子どもが、環境がないためにできないということは何としても避けなければならないと感じている。

■子どものスポーツ活動の充実 関連

- 子どもの体力水準を上げていくためには、まず小学校入学以前の段階で、“体を動かすことが好き”というふうに感じられるようにしていくことが必要であると感じている。
- 中学校も部活動が減ってきているが、子どもたちが今後どこで能力を発揮するのかということで、民間のクラブに通えばお金がかかるため、活躍できる場をつくっていくという点、そういうことを考えていただきたい。
- 学校部活動から地域部活動に移行した場合、学校から部活動が手を引いていくという方向性が段々見え始めているが、そうなったときに学校が何をすべきか。子どもたちにスポーツの機会を提供するために、どうあるべきかという意識改革を含めた大きな検討を今後進めていかなければならない。

■トップアスリートの育成 関連

- スポーツ医・科学の分野を視野に入れながら事業を展開するということを県とも話しているが、他の都道府県の中にはもっと強く打ち出したり、自治体で施設を所有しているところもあるため、スポーツ医・科学の視点を計画に盛り込んでいけると良い。
- 愛知県ゆかりの選手を発掘し、育成する取組も重要であると思う。技術の向上もさることながら、人間力を育て、世界から評価される選手に育てていくことが重要であると考えている。
- 競技生活を終えた後に地元企業で活躍するという流れ、人口減少社会の中で人材の確保が非常に大きな問題になっているため、他の地域に流出しないように、地元でさらに活躍していただけるような形になると良い。

■アジア・アジアパラ大会の開催、レガシー創出 関連

- アジア・アジアパラ大会を見て人々の意識が変わってくるような、そういった変化が大会のレガシーになるのかも知れないが、そのためにもう少しスポーツを「みる」視点というものを施策の中に盛り込んでも良いと思う。
- アジア・アジアパラ大会はスポーツを身近な地域で見ることができる好機であり、この大会をきっかけにスポーツ好きな県民が増えていくよう、取組を進めていく必要があると思う。
- 愛知県には、アジアの色々な国に拠点を持つ会社も多いと思う。そういった企業も大会に向けて一緒にムーブメントを起こして、愛知県内だけではなく、アジアの国々の拠点ともつながっていくというようなイメージも良いのではないかと。
- スポーツは、性別や年齢、国籍、障害の有無など、様々な垣根を越えて楽しむことができる。共生社会の実現に向け、スポーツの活用は非常に効果的であると思う。

■スポーツによる地域活性化 関連

- 出張で愛知県に来たビジネスマンなどを、スポーツを含めた観光に引き込んでいくという視点も必要であると思う。大都市であり、色々な方が集まってくるため、観光客だけを狙うのではなくて、そういったところも考えていけると良い。
- スポーツというと、どうしても力のある大きな企業、東京に立地している企業に偏りがちであるが、やはり地元企業が県の計画に関わり、経済の活性化につながっていくという視点をぜひ入れていただきたい。
- 技術革新はスポーツに大きな変化をもたらす一面があるが、スポーツを通して技術革新のスピードも高まっていくと思う。スポーツでこういうふうにしましょうというワンウェイではなくて、ツーウェイで、好循環が期待できるというところをもう少し強調した方が良いのではないかと。
- チームとして持続可能な社会の実現に貢献したいと考えているが、スポーツやプロスポーツチームを通じた活動により、市民の方にSDGsをより身近に感じていただけるのではないかと。